

教材 7 自分ことばマップ

・私達は、日常様々な場面や相手に応じてことばを使い分けている。ことばは相手に応じて変わるものであり、一人の人間の中に多様なことばが存在するのである。この活動では、そうしたことを意識化させていくために、自分ことばマップを作り、大切にしていきたいことばを自分型のカードにかきこんでいく。

ねらい : 場面や相手によって、広義のことばを自分がどのように使い分けてけているのかを考える。自分とことばの関係について考え、マップとして視覚化する。自分が今後大切にしていきたいことばを、場や相手との関わりをもとに考える。

対象 : 小学校高学年以上（特に 6 年生以上が望ましい）

所要時間 : A.自分ことばマップ 20～45 分

B.大切にしていきたいことばのカード作成 20～90 分

準備 : A.イメージマップをかくワークシート

B.人間型のカード（学習者が各自作成）・色鉛筆やカラーペン

進め方 : A.イメージマップの書き方に似ているが、自分が普段生活している具体的な場面や、接する相手を想定し、そこでどんなことばを使っているのかかく。

B.1. 自分ことばマップに書かれたことばの中で、特に大切にしていきたいと思う言葉ベスト 9 程度選ぶ。

2. 画用紙を人型に切り抜き、自分自身と見立てて、ベスト 9 を書きこむ。体のどの部分にどのくらいの割合でどのことばをかきこむのか、意識させる。

3. それぞれのことばに自分がイメージする色を自由にぬる。

4. カードにかかれたことばをグループ交流する。

留意点 : ここで言うことばは、「ありがとう」や「かわいいね」などの具体的なフレーズではなく、「家族が使っている〇〇方言」「友達と仲良くなるための、話し言葉」「障害ある人と関わるための手話」「地域に住む〇〇さんと話すためのタイ語」といったものを想定している。

教材例A. 自分ことばマップ 例

- 自分と関係ある相手・場を想像する
- そこで使うことばを想像する
- その中から大切なものを選ぶ



教材例B. 大切にしたいことばの例と、自分型カードの例

- 敬語・標準語・文字・外国語
 - あいさつ・手話・一人語
- なくなりそうな言葉・方言
 - 昔ながらのことば
- ため語（友達語）・欠点を指摘してくれることば
 - 親切なことば
- 歌・ジェスチャー

